

○事業所名	社会福祉法人 立葵会 タチアオイの教室			
○保護者評価実施期間	2024年12月2日 ～ 2025年1月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2024年12月2日 ～ 2024年12月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月の職員会後に職員の資質向上をのため、職員研修や事例検討を行っている。	将来の業務において必要となる知識やスキルを習得している。支援をしていく中で多様な視点でニーズに応じた適切な支援ができるように、いろいろな先生達からアドバイスをもらっている。活動の様子や子どもとの様子を動画に撮り、いろいろなクラスの職員と情報共有している。	事例検討だけでなく、活動の充実化を図るため、授業研も行っていく。
2	保護者の方々と成長を共感し、共に喜べるような場所になることを目指して活動している。	利用された日は直接保護者の方々に子どもの様子を伝え、常日頃から保護者との連携がとれるように工夫している。	保護者参観や交流会など保護者や職員がより深く交流できる場を作っていけるように検討していく。
3	施設外学習として、買い物体験や外出学習をしている。	事前学習として、買い物の仕方や公共のマナーなどを学び、体験活動の質を高め、ねらいの達成に向けて効果を発揮できるようにしている。	社会で自立していくために必要な経験や体験について深く考え、子ども達に必要な活動を考え検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や勉強会、参観など保護者の方同士の交流の機会が少ない。	今まで保護者会や勉強会などを開催する機会がなかった。必要があるか不安だったため、開催に踏み切れなかった。発達年齢の幅が広いため、設定内容について精査できなかった。	放課後デイサービスを利用している保護者に向けての勉強会や保護者会などの需要を再確認し、その後開催を検討していく。保護者の方々が何に困っているかを吸い上げていく。
2	身体を大きく動かす活動をする場所がない。月年齢が上がってきて、現在活動を行っている部屋が狭く感じる。	広い外庭や運動に適した部屋、近くに公園がない。	地域の公民館や市民センターなどの広い場所を利用し、子どもの運動量や運動機能に合わせた場所で活動を行う工夫をしていく。
3	地域の方や周辺の施設との交流の機会が少ない。	近くに交流できるような施設がない。就労施設とのつながりがない。	周辺の放課後デイサービスや就労支援施設などとの交流の機会を作るためにまずは、管理者がつながりを作っていく。